

2021年2月海洋観測結果について

1月26日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により海洋観測を以下の表1、図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>) と沿海漁協にはファクシミリで通知します。なお、1月海洋観測は海況が悪く欠測となりました。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	13m	133.40	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

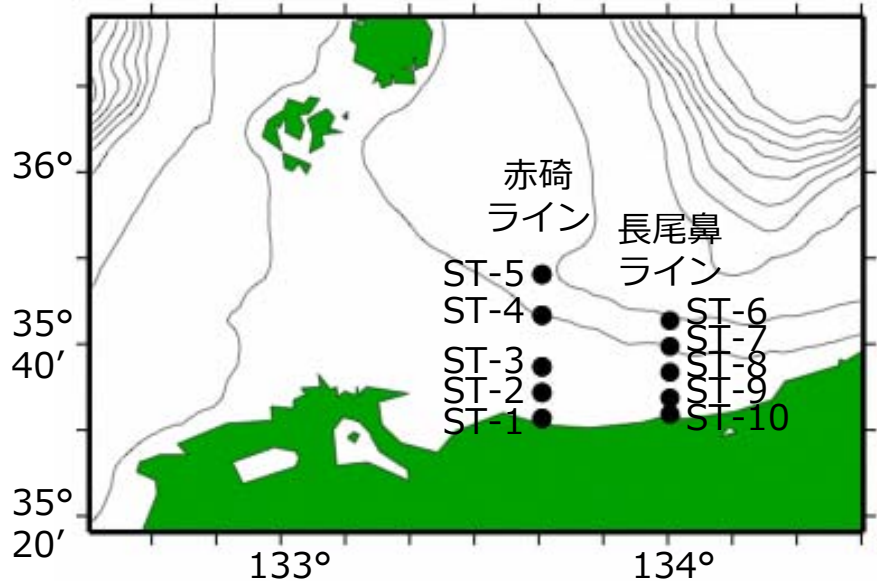


図1 観測定点

【鉛直分布図】

長尾鼻ラインのみの観測となりました。気温の低下に合わせ、鉛直混合が進み、長尾鼻では-110mまで13℃以上でした。-140m (11.7℃) から-175m (5.1℃) まで急速に水温低下する温度躍層が確認されました。

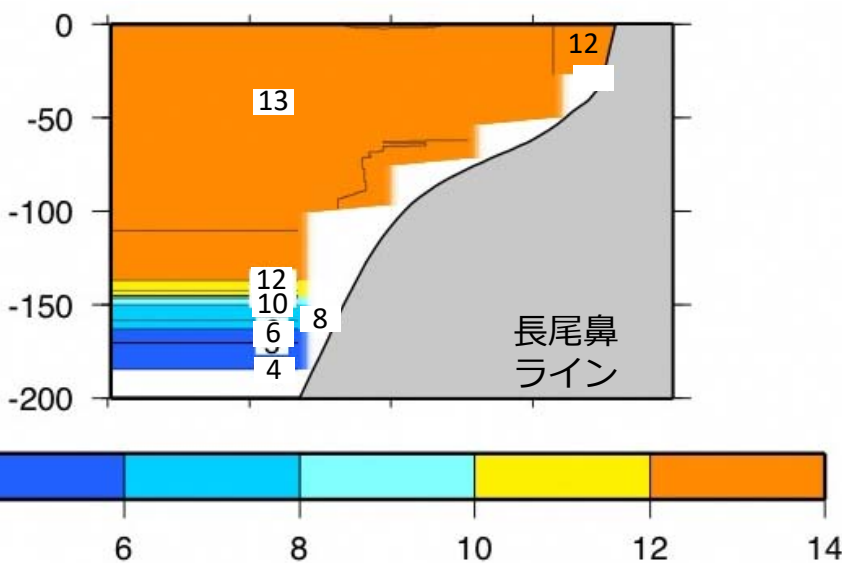
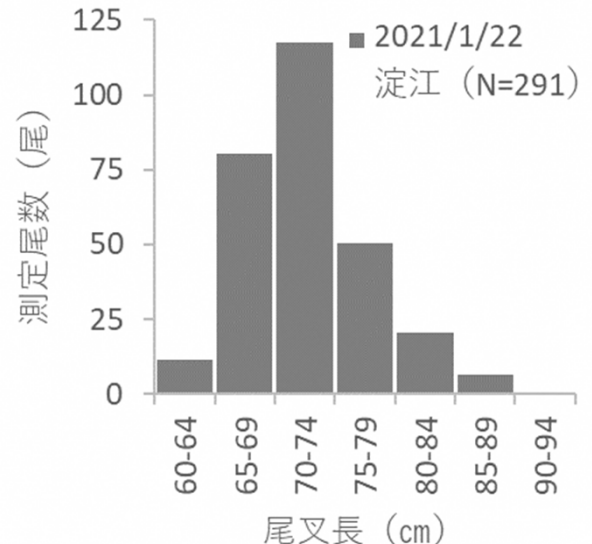


図2 鉛直分布図 (海水温の単位：℃)

【サワラ情報】

例年ですと、海水温12℃台でサワラサイズが釣られることはあまりないのですが、淀江で多獲されました。



【2月観測の水深帯別の比較】

2015年以降は、4-10月観測と期間的な海洋観測でしたが、今年度から周年実施することとしています。過去のデータとして比較できるのは4年分しかありませんが、今年の水温はやや高い数値でした。

表2 長尾鼻ラインの水深帯毎の平均水温

調査定線	長尾鼻ライン (134° 00')			
水深帯	0m	30m	50m	90m
2021年	12.9	13.2	13.2	13.2
前年	-	-	-	-
2010-14年平均	12.3	12.5	12.5	12.1
平年差	0.6	0.7	0.7	1.1

【2020年11月の主要魚種の漁獲動向】

鳥取県漁獲情報システムの11月速報値から、主要魚種の漁獲量比較を行いました。総漁獲量は、前年を上回ったものの5年平均（2015-19年）を下回りました（図3）。前年、5年平均をたい類、ソデイカは上回りました。

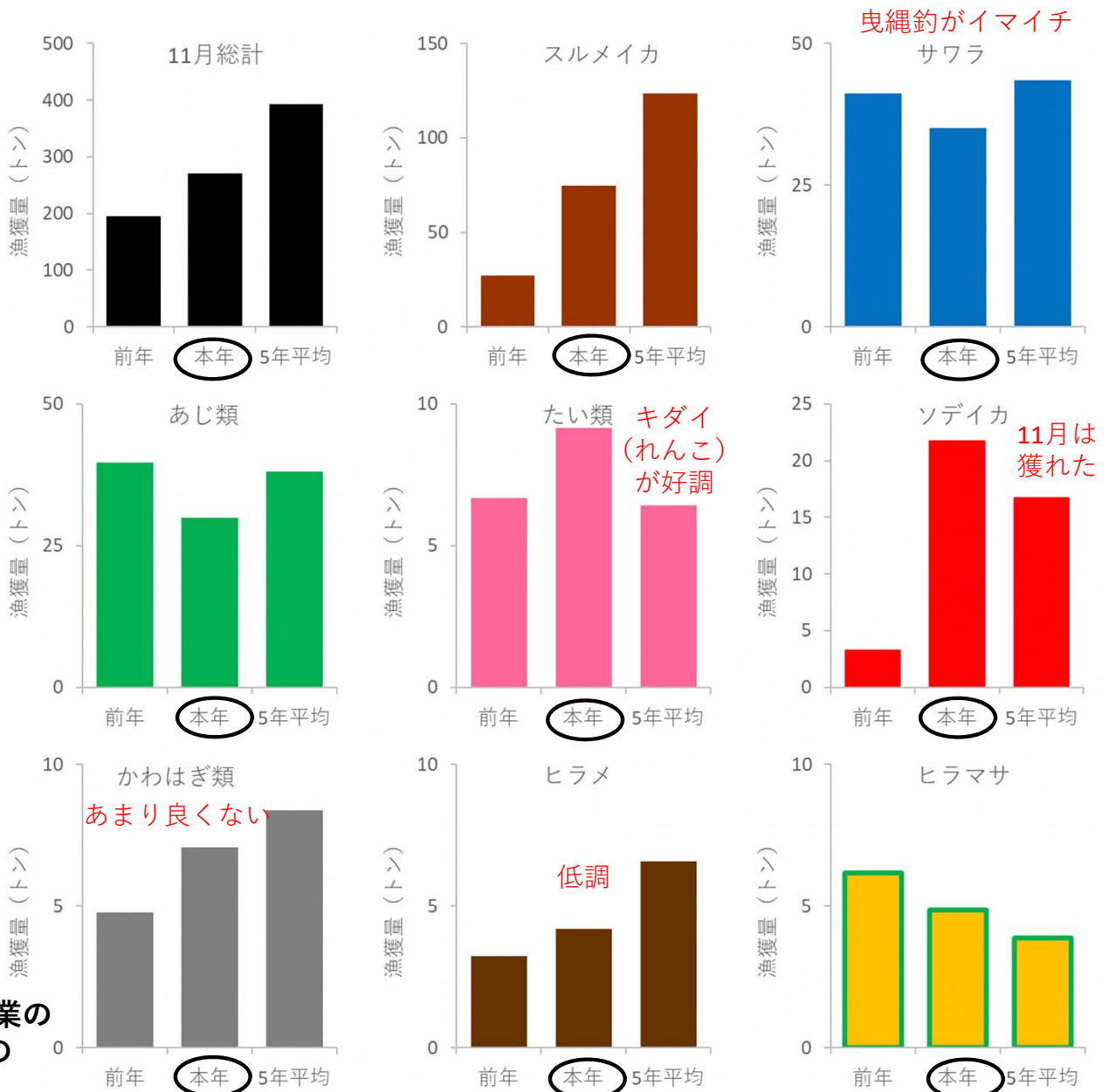


図3 11月沿岸漁業の主要漁獲物の漁獲状況